

UBC Campus Sustainability

3日目 UBC 内にある CRIS という施設で Sustainability office で働かれているオリオンさんから話をきいた。

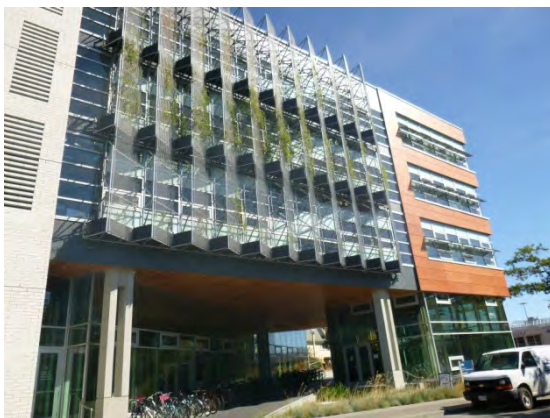
Sustainability office では現在 10 名のスタッフが働いている。

LEED Buildings、ADES Hot Water Conversion、NDES Heat Pumps などの環境に関するプロジェクトを行っており、直接プログラムに関係していなくても間接的には 6 万人もの生徒がかかわっている。プロジェクトの中には企業の協賛のもと行われているものもある。今回訪れた CRIS も環境プロジェクトの一つである。



「CIRS」

建物の効率性をあげる！！そのシステムとは？



CIRS 1

- ①窓を覆うように植物を植えている
暑い時期には日よけになり、寒い時期には葉がなくなってしまうため日の光を取り入れることができる。
- ②ソーラー発電パネルをつける
窓に直角になるように取り付けている。直角につけることで日よけの役割もはたす。
- ③建物に木材が多く使われている
- ④屋上が緑地化されている
- ⑤天井が吹き向けになっている
日の光を取り入れている。

⑥雨水を処理している。処理された水はCIRS内で利用され、現在飲料水は100%まかなわれている。そのために10万ℓの雨水をためることができるタンクを設置している。また、雨水だけでなく下水も処理して使われている。排水利用の技術は他の国や地域でも進歩しているが実際に排水利用を活用している施設は珍しい。今後より浄化能力をあげていきたいと話されていた。



水処理システム

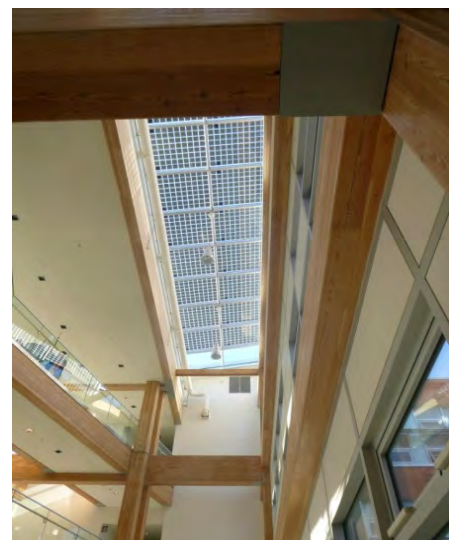


CIRS内のカフェ

- ⑦建物内にはカフェがあった。マドラーの代わりはパスタ！スプーン、ホークは木で作られたものだった。
- ⑧人が建物を使うスケジュールにそってライトや暖房を切り替えている。暖房かけられる時は自動で窓が閉まるようになっている。

現在、新しいプロジェクトを始めることよりも、建物のシステムを更新することや、システムのメンテナンスを行っている。

社会で実際に利用してけるかのテストとしてこの施設で上記したような環境システムが行われている。



CIRS 2